

古代の焼き物 須恵器

～鏡山古窯址群と陶人伝承～

主催：竜王町教育委員会

須恵器の国産

天日ヶ原の須恵器

令和 7

■ 期間 6 月 9 日 月 ▶▶ 29 日 日

■ 時間 9 時 ▶▶ 22 時

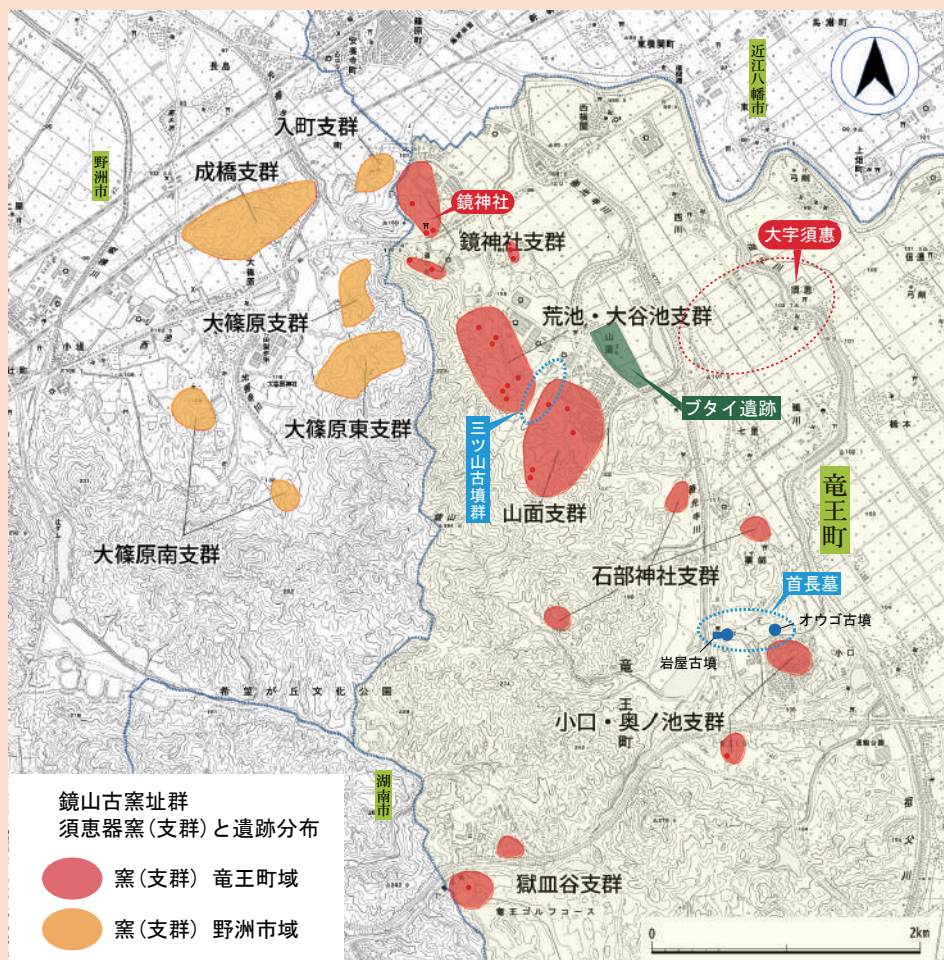
■ 場所 竜王町公民館（交竜フロア）

す え き 須恵器

今から1600年前の古墳時代に朝鮮半島から日本に伝えられた製陶技術で造られた古代の焼き物です。^{ろくろ}轆轤を用いて形を作り、丘陵の斜面に築いかれたトンネル式の^{あながま}窖窯で摂氏1100度に達する高温で焼かれた青灰色の堅牢な焼き物は、古墳時代から平安時代（5～12世紀）にかけて約800年間使われていました。

『日本書紀』垂仁天皇3年3月条にある新羅国の王子アメノヒボコの伝承の中に「**近江国鏡村**^{はざま すえひと}の谷の陶人は天日槍の従人なり」の一文がみられます。が、この「近江国の鏡村」は、現在の地名「鏡」、鏡神社周辺を指すと考えられ「陶人」は、ヤマト政権下で組織された須恵器工人のことです。

この鏡地域を含む竜王町北西部から野洲市南部にかけて広がる鏡山の山麓には50ヶ所を上回る須恵器を焼いた窯跡が確認されており、これを総称して「**鏡山古窯址群**^{かがみやま こやうしぐん}」と呼んでおり、未知の窯を含めれば総数は150基以上とも予想される県内最大規模の須恵器生産地です。



主な展示品



鏡山古窯址群出土品



三ツ山古墳群出土品



ブタイ遺跡出土品



古代の焼き物 須恵器 ～鏡山古窯址群と陶人伝承～

期間 6月9日(月) ▶ 29日(日)
場所 竜王町公民館(交電フロア)

近江国の鏡谷の陶人は天日槍の従人なり

主催：竜王町教育委員会

